



BONJONO CONCEPT BOOK



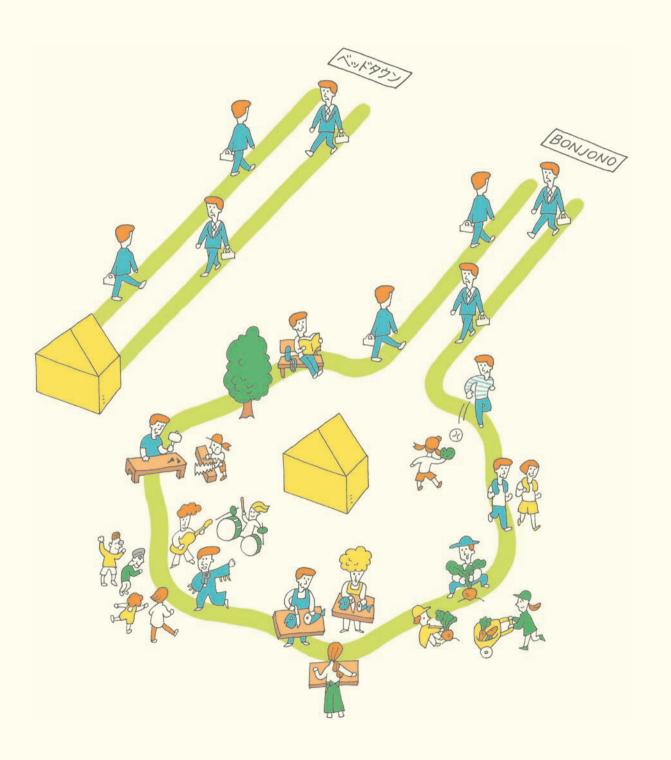
わたしが 暮らすまち ぼくが 暮らすまち お隣さんが 暮らすまち

ひとりひとり 違うから ひとりひとり 違う暮らしがまちにある

わたしの いいな がつくれるまち みんなの いいな に出会えるまち

暮らしを楽しみながら 未来を育むまち

暮らすって?



暮らしの楽しみと場をシェアし 自分たちでまちの魅力を生み出していく

城野駅北地区に「シェアタウン」をテーマに誕生した、みんなの未来区 BONJONO ボン・ジョーノ。ここは、これまでの帰って寝るだけのベッド タウンではなく、暮らしや活動を楽しみながら、時代とともに変化し、成長することで、まちの魅力を未来につなげていくまち。シェアタウンとして、自分たちの手でまちの魅力を生み出し、そのプロセスをシェアしていきます。

たとえば、まちの畑で野菜を育てたり、仲間とバンド演奏をしたり、マルシェを 開いたりと、誰もが、「まちで過ごす時間がいちばん楽しい」「このまちに住んで みたい」と思えるようなまちにしていきます。アイデアと知恵を出し合って、 自分たち好みのまちにカスタマイズし、まちの魅力を育てていくことで、住む人 にとって、このまちで暮らすことが誇りになっていきます。

暮らしの舞台としてのまちの魅力を高めながら、その魅力を未来につなげていくために、「居場所」「活動」「まち育て」という、まちをシェアする3つのしくみをつくりました。

まちをシェアする3つのしくみ

居場所をシェアする

自宅でもない、職場でもない、自分にとって心地よい第三の居場所を持つことが大切だと 言われています。たとえば、木陰のベンチで本を読んだり、公園で遊ぶ子どもたちの姿に 目を細めたりと、誰もがお気に入りの居場所を持てるように、まちの中に、多様な魅力に あふれた、出かけたくなる場所をたくさん用意しました。

→くらしの製作所 TETTE4.5 P、BONJONO シェアマップ 6.7P へ

→ 活動をシェアする

BONJONO では、まちの中に用意された多様な居場所を使って、さまざまな活動を行うために、くらしラボ活動を通しての仲間づくりを進めていきます。野菜づくりやDIYなど、仲間とともに趣味を楽しみながら、それがまちの魅力づくりにつながる、うれしいしくみがあります。

→くらしラボ 8.9P へ

まち育てをシェアする

BONJONOでは、このまちに住む人・働く人・訪れる人が、楽しみながらまちの維持管理に参加するしくみを用意しています。暮らしながら、集いながら、自分たちの手でまちの魅力を高めていく活動を通して、まちの魅力と共に新しいコミュニティが育っていきます。こうしたまち育てをシェアするためのしくみとして、「城野ひとまちネット」という組織があります。

→城野ひとまちネット 10.11P へ

テッラ

TETTE いってくるね!



DIY スペース

大きな軒下で雨の日でも活動可能。 豊富な工具と足洗い場のある土間空 間で汚れを気にせず自由に作業でき ます。

<活動例>DIY教室・寄せ植えワークショップなど



キッズ&キッチンスペース

キッズスペースとキッチンが隣り合う ことで、子育て世代のお父さん、お母 さんも気軽にラボ活動に参加できま す。キッチンで料理をしていても、目 の届く範囲に子どもがいるので安心 です。

<活動例>パン教室・お母さんにケーキを作ろう・コミュニティファームの 採れたて野菜でヘルシー料理など



交流スペース

大人数にも対応できるスペースは、 使い方を限定せずさまざまな活動に 利用できます。

<活動例>会議・ワークショップ・ヨ が教室・ダンス教室など



読書スペース

落ち着いた雰囲気の読書スペース。 本棚にはフリーペーパーを置いたり、 情報発信コーナーとしても活用でき ます。



テラススペース

街路に面したテラススペースは、地域 の人が気兼ねなく利用できるオープ ン空間です。

<活動例>モーニングマルシェ・テラ スでモーニングコーヒーなど



くらしの道具箱

TETTEの中心は、DIYのための大工 道具、料理用の調理器具、壁一面の 本棚など、みなさんの活動を助けて くれる道具箱になっています。

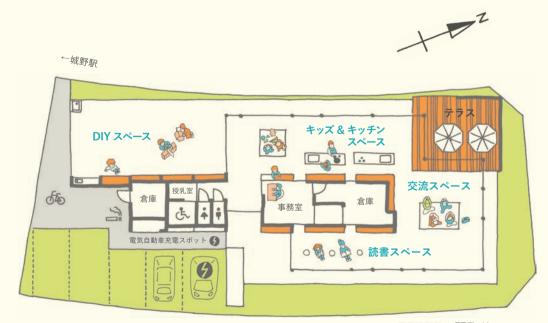
暮らしをつくる道具に出会える 暮らしをつくる仲間に出会える

くらしの製作所TETTE テッテ は、欲しい暮らしづくりを応援する場所です。 TETTEには暮らしづくりをサポートする道具があり、TETTEでは暮らしのヒントを教えてくれるイベントやラボの活動を企画し、参加することができます。

気軽に立ち寄れて、毎日思わずのぞいてみたくなる、開放的なワンルームの空間 は、アイデア次第でどんな使い方も可能です。

TETTEという親しみやすい名前のとおり、「手と手」をつなぐように、この場所から暮らしの輪が広がっていきます。





TETTEの間取り

きょうはどこで何しよう?



ひとまち公園

BONJONOを象徴する公園。しばふ広場の芝生は、 2015年に地域の方々や子どもたちの手で、一枚一 枚張られました。自分たちで居心地のいい場所に育 てていく公園です。



コミュニティファーム

家庭ではできない専門的なベジタブルガーデンスペース。まちのみんなで花や野菜を育てます。収穫した野菜でバーベキューも楽しめます。



さくらウォーク

まちの中央を南北につらぬく遊歩 道。花と緑にあふれ、春には桜が 咲きほこります。ただ通り過ぎるだ けの道ではなく、ゆっくりとした時間と暮らしを楽しめる広場のよう な場所に育てていきます。



サンパーク スタディルーム

「サンパーク城野駅前EXIA」1階に開設予定のスタディルーム。自習やグループ学習、読書や仕事の場として、大人も子どもも利用できます。城野ひとまちネットの会員のみなさんが利用できます。



メディプラ・眺望テラス

足立山が一望できる「メディプラ城野」の屋上広場。 季節ごとのイベント開催を検討していきます。



まちのあちこちに、ほっとできる場所や

病院のホールやビルの屋上テラスなど、「それぞれがつくる魅力的な場所を住民 みんなでシェアしよう」とつくられたのが、BONJONOのシェアプレイスです。

BONJONOでは、住民同士の交流が自然と生まれるよう、この多様な

居場所を使って、さまざまな活動を行うための仲間づくりを進め

ていきます。季節のイベントを企画するなど、

住む人たちのアイデア次第でシェアプレイスの

使い方が広がっていきます。

みんなで使える場所がいっぱい

くらしの製作所 TETTE

コミュニティ活動の中心となる場所。DIYやガーデニング、料理などの道具と活動スペースを備えています。壁をとりはらった開放的な空間なので、いつでも気軽に立ち寄り、仲間と交流することができます。



にぎわい広場

マルシェやフリーマーケットなど、イベント に活用できる広場。周辺のオープンスペースも一体的に使って、さらに広がりのある空間として活用できます。



地域の人とも居場所をシェア



フォーラムJONO

くらしラボ主催のイベントなどに利用できる大きなホール。北九州総合病院との共同企画で講演会やコンサートなどが開催できます。



オープンガーデン

まちのあちらこちらをオープンガーデンが彩ります。オープンガーデンは、住む人や訪れた人の目を楽しませるよう通りに向けて開かれた花壇・緑地です。花の植え替えやガーデニング作業も、専門家のサポートを得ながら地域の仲間で楽しく行っていきます。

こんなこともできるんだ!!



グリーンラボ

まち花壇に花を植える、コミュニティファームで野菜を育てるなど、いろいろなクラブ活動が楽しめます。

サポート:オープンガーデン北九州



キッチンラボ

料理の腕を活かして料理教室を開いたり、ランチづくりで集まったり。 キッチンラボのスペースを使って、気の合う仲間とミニパーティを開くこともできます。

サポート:西部ガス



DIYラボ

専用の作業スペースと備え付けの道 具を使って、手作り家具やまちのベン チづくりに挑戦することができます。 充実した道具とプロのサポートがあ れば、ちょっとした住まいのメンテナ ンスも自分でできちゃうかも。

サポート:オープンガーデン北九州



ヘルスラボ

健康づくりの教室や世代を超えて楽 しめるウォーキングクラブ、子育てを 応援するイベントなど、健やかな暮ら しをテーマにした様々な活動が行え ます。

サポート:北九州病院ほか



スマートライフラボ

エコな暮らしのノウハウを学んだり、 将来に向けてスマートなエネルギー の使い方を考えたり。いろんなコトを 学びながらスキルアップし、知識を共 有。みんなでアイデアを出し、地域ぐ るみで自分たちに最適なエネルギー 選択につなげます。

サポート:富士電機、パナソニック、 NTT西日本



メディアラボ

各ラボの活動をホームページや会報 誌などで地域外に発信するだけでは なく、まちで集めたみんなの声を紹 介するなど、双方向の情報交流を行 います。記者クラブのメンバーが取材 したホットな情報をまちのホーム ページにアップ。図書クラブのメン バーが、図書スペースの本を管理し、 本のセレクトから読みたくなるPOP 書きまで行います。

サポート:タウンマネージャー

シェアプレイスを自在に使うまちの部活「くらしラボ」

時代の変化とともに、地域活動に積極的に関わる人は減少傾向にあると言われています。そこでBONJONOでは、従来の地域活動に代わるコミュニティ活動として、「こんなまちになったらいいな」、そんな自分たち好みのコミュニティをつくるため、くらしラボのタウンシェア活動を作りました。

くらしラボの活動は、たとえば部活のように、それぞれの趣味や関心のあるコトで仲間と集まり、活動を楽しむことを基本とする、関心でつながるネットワークです。場所をシェアすることで、いつもの仲間だけではなく、他の活動、新しい仲間たちとつながる機会にもなっていくはずです。

くらしラボは、開かれたコミュニティとして、BONJONOで暮らす人だけではなく、参加を希望する周辺地域の方もメンバーに加わり、一緒に活動。関心をシェアする、より多くの仲間とのネットワークを作っていきます。

テーマ別に、6つのくらしラボ活動を用意しました。それぞれ、必要に応じて外部の専門家がサポートしてくれるので、経験のない方でも安心して活動に参加できます。



頼もしい仲間がいる!



タウンマネジメントのしくみ

城野ひとまちネット

BONJONOには、ここで暮らす人が仲間と一緒に方針を決め、自分たちの手でまちへと働きかけていくためのコミュニティとして、「城野ひとまちネット」があります。すべての居住者と事業者は、「城野ひとまちネット」のメンバーとなります。30年後、50年後のまちの姿を正確に予測することはできませんが、城野ひとまちネットでは、それぞれの時代で求められるまちの課題について、地域で話し合い、積極的に取り組んでいきます。

くらしのサポーター

城野ひとまちネットには、活動をサポートしてくれる頼もしい仲間がいます。サポーターがついているので、一見難しそうな住民主体のまちづくりにも安心して参加でき、楽しみながら新しいコミュニティを育てていくことができます。



マウンマネージャー

ひとまちネット担当タウンマネージャーは、日常の問い合わせ対応、「TETTE」使用受付、HPメンテナンスなどを担当します。

くらしラボ担当タウンマネージャーは、くらしラボ活動の運営サポートや 各種イベントの企画実施などのサポートを行います。

西部ガス株式会社

まちの総合的な管理会社として、ひとまちネットの活動全般に係るコーディネート 役を担います。



ナポートメンバー

特定非営利活動法人オープンガーデン北九州

各種イベントの企画から実施、まちなみや緑の維持管理活動を通じて、 BONJONOの魅力・価値の向上や住民相互のコミュニティ形成をサポートします。

富士電機(株)•西日本電信電話(株)

パナソニック(株)エコソリューションズ社

まち全体のエネルギー利用の最適化や環境負荷低減のために、ネットワークを活用したエネルギーマネジメントシステムを導入し、地域ポータルを通じて省エネ生活に役立つ情報を提供します。併せて賢くエネルギーを使う暮らしの実現に向けた普及啓発などを行います。



タウンエディター

まちづくりの専門家として、まちを未来につなげるしくみについて一緒に考え、 まちを共同で編集していきます。

西村 浩 株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役 一級建築士 二瓶 正史 有限会社アーバンセクション代表取締役 一級建築士

柴田 建 九州大学大学院 人間環境学研究院都市·建築部門 助教

みんな知ってる?まちの工夫

安心・安全の工夫



屋外活動の促進と見守り

自宅前でのガーデニング、ベンチでの談笑、コミュニティファームでの活動など、まちの中に魅力的な居場所をつくることで、暮らしの中で自然に人の目による見守りができるまちにしていく。



歩車共存の街路デザイン

さくらウォークでは歩行者と自転車、 街区内部の区画道路では歩行者・自 転車と自動車が共存する空間とし、 車両用の道を曲線にするなどの工夫 によって、車のスピードを抑え、歩車 共存を促進する。



連続する灯り

街路灯だけではなく、住宅や施設の窓、庭園照明などの光が連続するまちなみを生み出す。住宅の門灯にソーラーパネル付き自動点灯の機器を設置するなどして、灯りの絶えないまちなみとすることで、まちの防犯につなげる。





エネルギーの工夫



風と緑のデザイン

建物の北側に常緑樹を植えて冬の北 風を防ぎ、南側に広葉樹を植えることで、冬は部屋の奥まで光が届くよう にする。夏には、強い日差しを遮ると 同時に、葉の蒸散作用で空気の温度 を下げ、涼しい風を室内に送り込む。



車より歩きたくなるまちへ

魅力的な居場所、花と緑に彩られた 通りを設け、歩くことが楽しみになる ようなまちを作る。車ではなく、徒歩 や自転車での移動を増やすことで、 環境にやさしいまちにしていく。

工夫あるまちなみは、まち全体の魅力を高め 未来へとつなげていくための約束事

BONJONOのまちなみには、建築、緑、安心・安全、エネルギーについて、まちの魅力を高める工夫としてのルールが設けられています。これは、美観のみを目的とするものではなく、誰もが歩きたくなるようなまちなみ、あるいはコミュニケーションのきっかけとなるまちなみ、エコな暮らしにつながるまちなみなど、広い意味でのまちなみを維持し、その魅力を高めていこうとするものです。

そして、まちの魅力を未来へとつなげていくために、ルールの在り方についてま ちに住むみなさんで考え、時代に合わせて編集してくことで、より成熟した魅力 を持つまちなみに育てていきます。

建築と緑の工夫



連続する緑

住宅の立木や生け垣、花壇などの多様な緑や 花が連続するようにしつらえ、歩行者の目を楽 しませ、その先へ誘うようなまちなみを実現す る。



居場所としての緑

施設や店舗などの入口部分には、樹木・芝・花壇とともにベンチやデッキなどを設け、そこで利用者がくつろぎコミュニケーションをとる緑の居場所となるようにする。また、広場などには多様な樹木や花を配し、子どもから高齢者までが集える魅力的な場を生み出す。



まちなみと調和する壁面

道路から壁面を後退させて、道路沿いを緑化し、まちなみ環境を良好に育てる。外壁の色は、樹木や草花と美しく調和したまちなみを形成するよう、過度に派手な色彩は避けるようにする。



緑を育てる

「公共」「民間」「個人」に関わらず、緑の手入れ を協働で行い、さらに好きな人が楽しみなが ら緑や花を育てることができるようにする。

まちは、未来の実験室だ!



ゼロ・カーボンを目指すまち

このまちづくりは、平成20年に北九州市が「環境モデル都市」として政府から認定され、城野駅北地区における「低炭素先進モデル街区」の形成がリーディングプロジェクトとして位置づけられたことから始まりました。

マスタープランとなる「城野地区まちづくり基本計画」で掲げられたコンセプトは、「人がつながり、多世代が『暮らし続けられる』『ゼロ・カーボン』と『子育て支援・高齢者対応』のまちづくり」です。

様々な低炭素技術やシステムをまち全体に取り入れ、地域や街区単位でCO2 削減に取り組むことで、ゼロ・カーボンのまちを目指していきます。

未来のスマートライフ実現に向けてまちぐるみの実験がスタート!

電力消費を抑える「省エネ」から電気を創る「創エネ」へ、そして電力の小売り自由化など、エネルギー問題は今、大きな転換期を迎えています。

次世代につながるまちづくりの先進モデルとして、暮らしの中で発生するCO2 排出量の大幅削減など、未来につながるスマートライフの実現に向け、まち全体でゼロ・カーボンを目指す挑戦が始まりました。

■ 現在のエネルギーマネジメント

- ・各家庭のHEMSで、太陽光発電量や電気使用量を見える化
- ・家庭のエネルギー使用量を東田CEMSに集め、地域全体のエネルギー 使用量を見える化し、必要なエネルギー情報を発信
- ・地域全体のエネルギーの需要と供給を最適化[将来]

これからのエネルギーマネジメント

スマートライフラボの活動を通して、エコな暮らしのノウハウをまち全体で吸収しながら、スマートな(賢い)エネルギーの選び方や使い方をみんなで考えていきます。

近未来には、まち全体でまとまって電力会社を選択し、電力会社と連携(デマンドレスポンスへの協力)することで、より安価な電力を購入することが一般的となっている社会が実現しているかもしれません。

※デマンドレスポンス(需要応答)

電力会社の供給力に応じて、需要側を変動させて需給バランスを一致させること。ピーク時に使用を控えた消費者に対し対価を支払うなどの方法で、使用抑制を促す仕組み。



BONJONO CONCEPT BOOK

2016年4月11日 初版第1刷発行

アートディレクション/Art Directors 西村浩(workvisions) 伊藤綾子(workvisions) 河上ののこ

> 編集/Editors 伊藤綾子(workvisions) 河上ののこ

> > イラスト/Illustrator 河上ののこ

まちの詩/Concept Poem 伊藤綾子

ロゴマーク/Logo Designer WORKVISIONS×河上ののこ

> 協力/Cooperator 柴田建

> > 発行

(一社)城野ひとまちネット

北九州市小倉北区東城野町城野駅土地区画整理事業地内6街区(TETTE内) 〒802-0054 Tel. 093-941-1170

本誌掲載のイラスト・記事の無断転用を禁じます。